

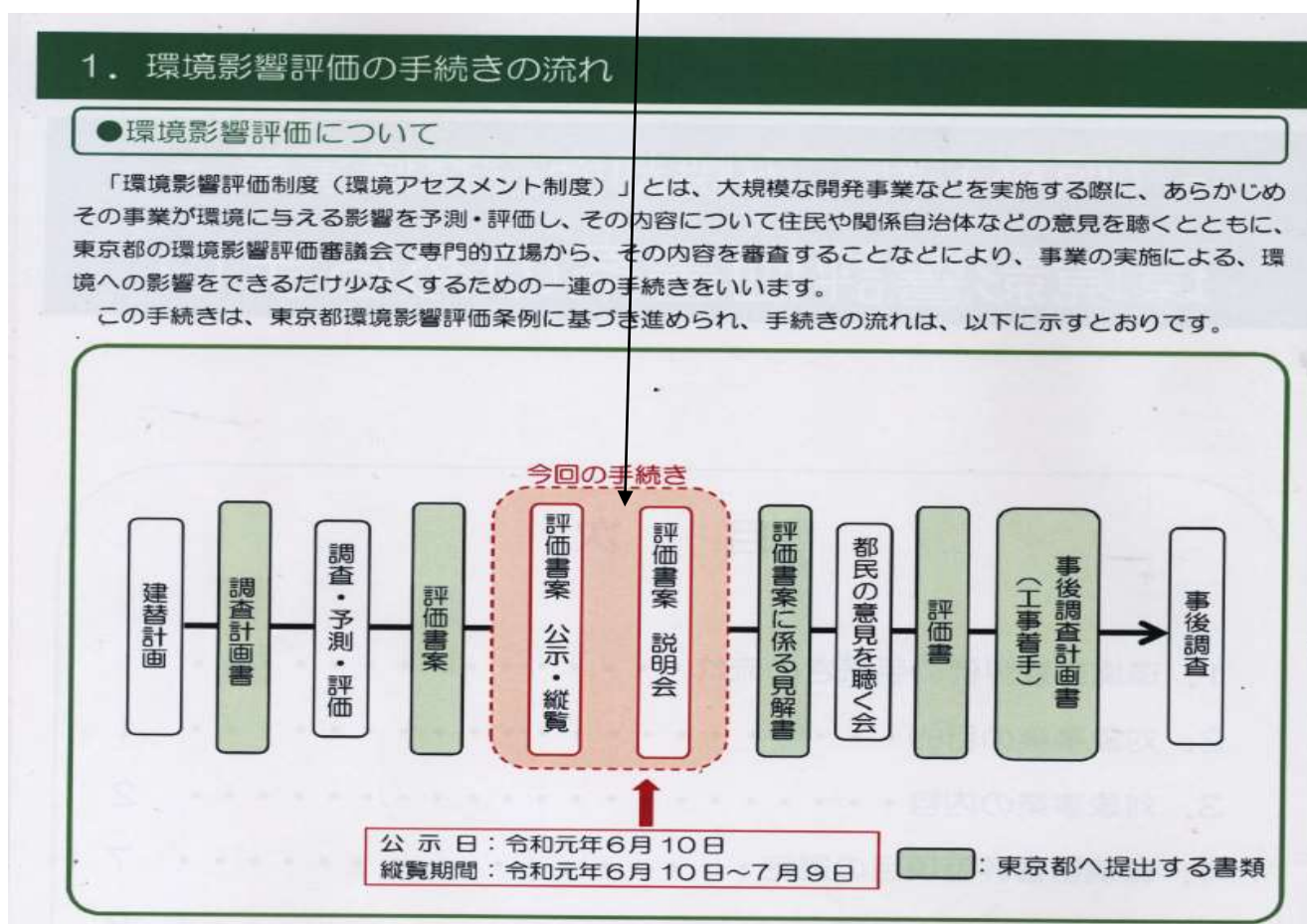
(仮称)新ごみ焼却施設整備事業環境影響評価書案説明会 (小平・村山・大和衛生組合)

2019年06月29日

(仮称)新ごみ焼却施設整備事業環境影響評価書案説明会(小平・村山・大和衛生組合)が6月24日～6月29日の間、小平市、東大和市、武蔵村山市、立川市の各市で合計6回開催されました。工事が場完了し稼働開始が2027年度と計画されておりますが、大変大きな金額の事業であり、ゴミの燃焼による大気汚染の環境に与える影響は市民として関心を持つ必要があると思いますが、筆者が参加した説明会を含め6回の説明会に参加した4市の市民は大変少なく、この面よりは極めて残念な結果でありました。説明会には下記5種の資料(別途表紙のみ表示しております)で説明されました。

- (仮称)新ごみ焼却施設整備事業環境影響評価書案説明会
- 一(仮称)新ごみ焼却施設整備事業一環境影響評価書案のあらまし
- 環境影響評価書案の概要 ; 令和元年5月(全184ページ)
- 環境影響評価書案(資料編) ; 令和元年5月(全289ページ)
- 環境影響評価書案 ; 令和元年5月(全528ページ)

環境影響評価は下図の手順で実施され今回は「()」の部分を実施差されました。



1. 環境影響評価について

【環境影響評価条例に定める手続きの流れ（評価書案説明会まで）】



公示日：令和元年6月10日（月）

縦覧期間：令和元年6月10日（月）～7月9日（火）

意見募集：令和元年6月10日（月）～7月24日（水）

5

4. 今後の環境影響評価の手続きについて

【環境影響評価条例に定める手続きの流れ（評価書案説明会後）】



66

工場の稼働開始は2027年度が計画されております。

2. 事業の内容

【工事工程】

工事内容	年度							
	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027
準備工事								
解体工事								
粗大ごみ処理施設等								
3号ごみ焼却施設								
4・5号ごみ焼却施設								
新施設建設工事								
新施設稼働								

工事作業時間：原則として、午前8時から午後6時まで（日・祝日は除く）

工事用車両台数（最大）：大型車195台/日、小型車42台/日

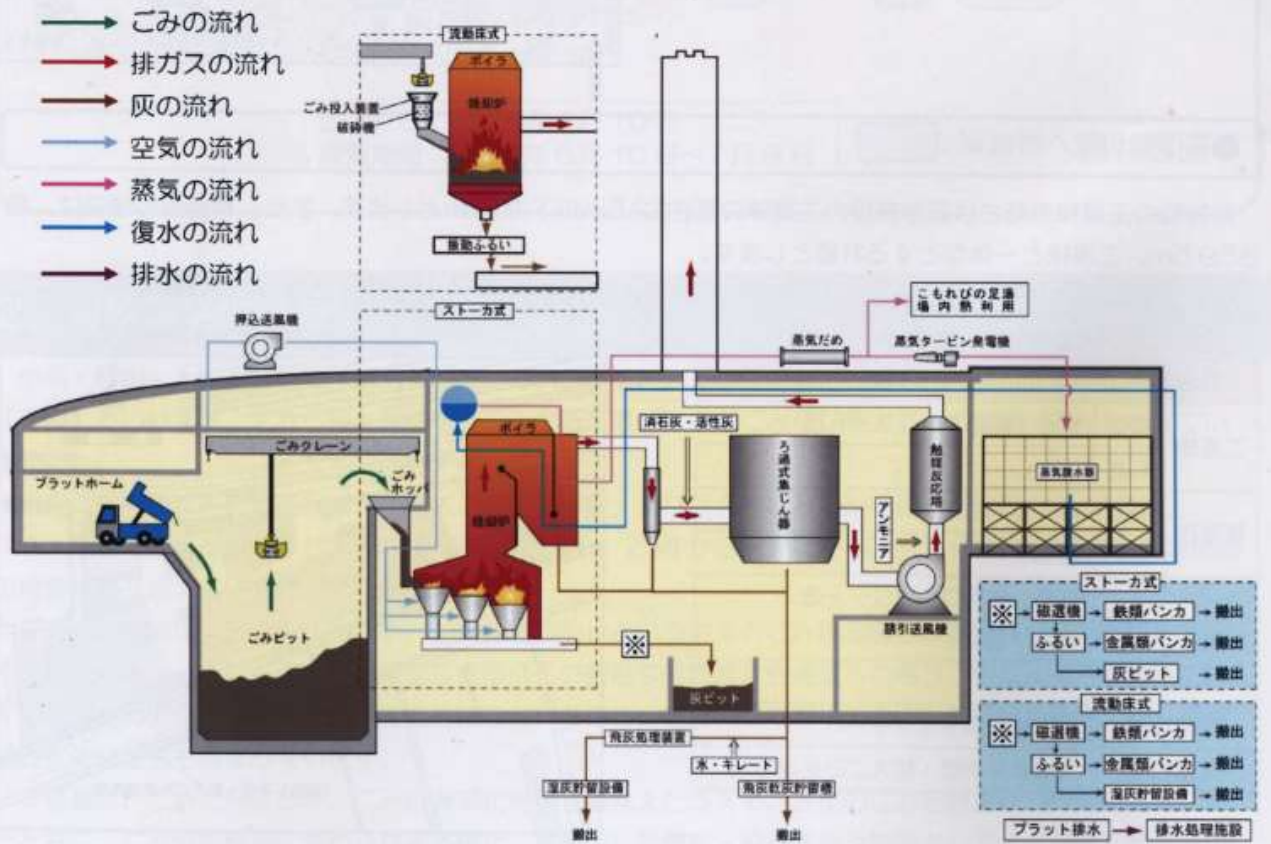
12

《完成予想図（北西からの視点）》



注）図は計画段階のイメージです。実際とは異なる場合があります。

《新ごみ焼却施設の処理フロー図（模式図）》



3. 対象事業の内容

●対象事業の概要

本事業は、東京都小平市中島町2番1号に位置する既存のごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設を撤去して、新しいごみ焼却施設の建設を行います。

対象事業実施区域（以下「計画地」といいます。）は、小平市中島町に位置しており、敷地面積約19,800m²の区域になります。

《事業の概要》

項目	内容
所在地	東京都小平市中島町2番1号
計画敷地面積	約19,800m ²
工事着工年度	令和2年度（2020年度）（予定）
施設稼働年度	令和7年度（2025年度）（予定）
施設規模	236トン/日 （118トン/日・炉×2炉）
処理対象物	可燃ごみ及び不燃・粗大ごみ破碎残さ
処理方式	全連続燃焼式（ストーカ式又は流動床式）
主な建設物等	工場棟、管理棟、煙突、ストックヤード等

《計画地の位置図》



●配置計画

新施設の工場棟の高さは既存施設の工場棟の高さ22.5m以下の22mとします。また、新施設の煙突は、高さ59.5m、工場棟と一体型とする計画とします。

なお、駐車場は27台（小型車23台、大型バス3台、車いす用1台）分を設けます。

《新施設の概要》

施設区分	新施設
工場棟	構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造
	高さ 22m
管理棟	構造 鉄骨造
	高さ 約9m
煙突	構造 外筒：鉄筋コンクリート造 内筒：鋼製
	高さ 59.5m
付属施設	計量棟、ストックヤード
関連施設	（仮称）不燃・粗大ごみ処理施設

《配置計画図》



●環境保全計画

焼却施設の排出ガス濃度は法令等による規制値より厳しい自主基準値を設定します。
また、施設から発生する騒音・振動・悪臭・排水については、規制基準を順守します。

《焼却施設の排出ガス濃度の自主基準値》

項 目		法規制値	自主基準値	既存施設の基準値 (参考)
ばいじん	g/m ³ _N	0.04	0.01	0.02
塩化水素	ppm	430	10	150
硫黄酸化物	ppm	約 850	10	45
窒素酸化物	ppm	250	50	125
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ _N	0.1	0.1	0.5
水銀	μg/m ³ _N	30	30	50

注) 表中の値は酸素濃度 12%換算値

《騒音・振動・悪臭の規制基準》

項 目		規制基準
騒音	昼間(8時～19時)	50dB 以下
	朝(6時～8時)、夕(19時～23時)	45dB 以下
	夜間(23時～6時)	45dB 以下
振動	昼間(8時～20時)	65dB 以下
	夜間(20時～8時)	60dB 以下
悪臭	敷地境界線(第1号規制基準)	臭気指数 12 以下
	気体排出口(第2号規制基準)	臭気排出強度
	排水水(第3号規制基準)	臭気指数 28 以下

《排水の規制基準》

下水道法及び小平市下水道条例に基づく下水排除基準以下

4. 環境影響評価項目の選定

環境影響評価の項目は、対象事業の事業計画の内容から環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響要因を抽出し、地域の概況から把握した環境の地域特性との関係を検討することにより選定しました。

なお、本事業期間中、既存ごみ焼却施設及び(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設が稼働することから、これらの影響も踏まえて総合的に予測・評価を行いました。

【選定した13項目】

- ①大気汚染、②悪臭、③騒音・振動、④土壌汚染、⑤地盤、⑥水循環、⑦生物・生態系、⑧日影、⑨電波障害、⑩景観、⑪自然との触れ合い活動の場、⑫廃棄物、⑬温室効果ガス

【選定しなかった4項目】

- ①水質汚濁、②地形・地質、③風環境、④史跡・文化財

《環境影響要因と環境影響評価の項目との関連》

環境影響評価の項目 環境影響要因	工事の施行中				工事の完了後		
	土地の掘削	解体・建設工事に伴う廃棄物等	建設機械の稼働	工事用車両の走行	施設の使用	施設の稼働	廃棄物等運搬車両の走行
大気汚染			○	◎		○	●
悪臭						●	
騒音・振動			◎	◎		●	●
水質汚濁							
土壌汚染	○						
地盤	○				○		
地形・地質							
水循環	○				●		
生物・生態系			◎			●	
日影					●		
電波障害					●		
風環境							
景観					●		
史跡・文化財							
自然との触れ合い活動の場			◎	◎		●	●
廃棄物		○				●	
温室効果ガス						○	

注) 網掛け箇所は、選定しなかった項目を示します。

○：新施設の影響について予測・評価する項目

◎：既存ごみ焼却施設及び(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設の稼働を踏まえて予測・評価する項目

●：(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設の稼働を踏まえて予測・評価する項目

(仮称) 新ごみ焼却施設整備事業 環境影響評価書案説明会

6月24日(月) 午後7時から 小平・村山・大和衛生組合
6月25日(火) 午後7時から 東大和市 中央公民館
6月26日(水) 午後7時から 武蔵村山市 中部地区会館
6月27日(木) 午後7時から 小平市 リサイクルセンター
6月28日(金) 午後7時から 立川市 幸学習館
6月29日(土) 午前10時から 小平・村山・大和衛生組合

小平・村山・大和衛生組合

1

本日の説明内容

1. 環境影響評価について
2. 事業の内容
3. 環境影響評価書案の内容
4. 今後の環境影響評価の手続きについて

2

-（仮称）新ごみ焼却施設整備事業 - 環境影響評価書案のあらまし

目 次

1. 環境影響評価の手続きの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 対象事業の目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3. 対象事業の内容・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4. 環境影響評価項目の選定・・・・・・・・・・・・・・・・	7
5. 環境影響評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・	8
6. 評価書案の縦覧及び意見書の提出・・・・・・・・	22

令和元年（2019年）6月

小平・村山・大和衛生組合

2-351-1

貸 出 用

環境影響評価書案の概要

(仮称) 新ごみ焼却施設整備事業

令和元年（2019 年）5 月

小平・村山・大和衛生組合

2-351-1

貸 出 用

環境影響評価書案

(仮称) 新ごみ焼却施設整備事業

資 料 編

令和元年（2019 年）5 月

小平・村山・大和衛生組合

2-351-1

貸 出 用

環境影響評価書案

(仮称) 新ごみ焼却施設整備事業

令和元年（2019 年）5 月

小平・村山・大和衛生組合